

土日は中学校の部活動も

休みにしては

戸井 肇



質 中学校ではさまざまな部活動が行われており、生徒が目標に向かい練習に汗する姿は素晴らしいものであり、

異年齢の交流など、通常の学級活動で得ることのできない教育的効果がある。

部活動については、教員の時間外勤務の縮減を目的として、道教委から週一日程度は休養日を設けることの方針が示されている。

しかしながら、多くの部活動では休日
に練習を行い、平日に休養日を設けてい
るのが現状である。

部活動の顧問となっている教員は、休
養や授業の研究に充てる時間の確保が難
しいこと、また生徒においても、家族と
過ごす時間が確保できない現状である。

最低でも土曜または日曜のいずれか一
日を部活動の休養日とするよう教育委員
会から学校に提案できないか。

答 部活動の顧問は生徒の状況を見て適
時休養日を設定している。また施設の割
り当てなどもあり、休養日を土曜・日曜
に設定してしまうと、かえって活動しに
くくなることから、週一日程度の休養と
らう現状の指導を理解いただきたい。

農業委員への女性登用を求め議案を可決 観光・経済委員会 付託案件審査

農業委員会等に関する法律
の改正により、委員の公選制
を廃止し市長が議会の同意を
得て任命することや委員の定
数を条例で定めることとされ
たことから、「登別市農業委
員会の委員の定数に関する条
例」を制定する議案が上程さ
れました。

本委員会では、過去の農業
委員会委員選挙の状況、委員
の条件として盛り込まれた
「農業者以外の中立公正な判

断ができる者」の選任基準な
どについて質疑を行い、審査
の結果、全会一致で本議案を
原案のとおり可決しました。

なお、附帯決議として「改
正後の農業委員会制度におけ
る農業委員の選出に当たって
は、男女共同参画社会の実現
に向け、女性の登用を積極的
に図ることを望む」と付すこ
とを全会一致で決定しました。

(米田)

市からの提案議案を13年ぶりに否決 生活・福祉委員会 付託案件審査

災害遺児手当支給条例につ
いて、条例制定当時と比べ災
害事故による死亡者数が大幅
に減少していることや、年金
制度ならびに児童扶養手当の
拡充など他法・他施策による
社会保障制度が充実してきて
いることを理由に、市は条例
の廃止を提案しました。

それに対して本委員会の委
員からは、①住民に対して細
やかなセーフティーネットの
構築を課さなければならぬ。

②条例を廃止する必然性が認
められない。③条例の施行規
則において、ほかの法律や制
度で補償内容が全て補われて
いるとする具体的な説明が不
足している。④行財政改革の
効果に乏しい。などの意見が
出され、全会一致で提案を否
決しました。

今後、本委員会では、本条
例について詳細な検証を行う
予定です。

(渡辺)

平成28年第4回定例会における議案の賛否状況（挙手採決議案のみ掲載）

議案	賛成議員	反対議員	結果	議案	賛成議員	反対議員	結果
平成27年度登別市一般会計歳入歳出決算の認定について	井野、小栗、木村、工藤、杉尾、千田、成田、戸井、二瓶、松山、宮武、村井、米田、若木	渡辺、佐々木	認定	登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例の一部改正について	井野、小栗、木村、工藤、杉尾、千田、戸井、成田、宮武、二瓶、松山、米田、村井、若木	渡辺、佐々木	可決
平成27年度登別市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	井野、小栗、木村、工藤、杉尾、千田、成田、戸井、二瓶、松山、宮武、村井、米田、若木	渡辺、佐々木	認定	登別市災害遺児手当支給条例の廃止について	なし	井野、小栗、木村、工藤、杉尾、千田、戸井、成田、宮武、二瓶、松山、米田、村井、若木、渡辺	否決
平成27年度登別市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	井野、小栗、木村、工藤、杉尾、千田、成田、戸井、二瓶、松山、宮武、村井、米田、若木	渡辺、佐々木	認定				

※セーフティーネット…万一の事態に備えて網の目のように救済策を張り、安全や安心を提供する社会保障などの仕組み。